# 2 9年度スタ ートにあたって

岡山商科大学 学長 井 尻 昭 夫



続いた「平成」 りとなる。30年余り 流れに乗って狂気的 和後期からの景気の は 昭

かしながら、その勢

混迷の時代である。 ともいわれる「烙印」 を迎えた。成熟化した社会がどのような発展を遂げ な飛躍を遂げてきた。 な流れを追い風に、 るかについて長い間模索し、 いもご存知のとおり息切し、 情報」である。 しかも人手不足という時代の大き ーT産業やロボット産業は大き この間に着実に進展したのは が押されたほどの、 失われた10年とも20年 バブル崩壊という事態 かなりの

シー、 蔭様で、 Ų て全力投球する時期に入っている。 姿勢を崩すことなく、 2019年を迎えた今日、 新しい時代に新しい教育を施す必要がある。 のもとで、 カリキュラムポリシー、 本学は3つのポリシー 学生へのサービスにおいて、 更なる「質 我々はこの流れを直視 アドミッションポリ (ディプロマポ の向上を目指 基本 ij お

な成長を遂げた。 平成も4月で終わ の度スポーツ分野においてアメリカNCAA 「質の保証」を問うてきた文部科学省によって、

において、 ばならない。テニス・全豪オープンで優勝した大坂 の 迎えるに至った証拠であるとも言えるだろう。 学スポーツ協会の役割の一つには大学スポーツに関わ 学体育協会)の日本版である、 る」という言葉に意味深いものを感じた。 おみ選手が記者会見で述べた「努力すれば道は開 員は一丸となって学生支援に積極的に取り組まなけ とは、入れて、育てて、社会に送り出すという各段階 かなるものであるか、 これは体育競技にまで大学の質の保証を求める時代を 競技参加に学業基準を定めることも検討されている。 る学生の学業充実を図ることが含まれており、 を作る呼びかけが行われ、 この文部科学省の姿勢を通して、 「目標」を達成させることである。 学生諸君に付加価値をつけ、 学ぶことができる。 本学もそれに賛同した。 「大学スポーツ協会」 大学の使命とは このために教 入学したとき 大学の使命 学生の

を磨き上げ、 我々の夢であり使命であることを改めて確認した 学生諸君が本学で学ぶことの楽しさを発見し、 個性豊かな社会人として送り出す。 それ

( )

が

# CONTENTS

- <商大トピック>

  - ●中国税理士会と協定を締結 ●2018年度冬季献血活動
- <情報アラカルト>
  - ■私立大学等改革総合支援事業 ●私立大学研究ブランディング事業
  - ●3×3バスケットボール トライアウトキャンプ ●慶應MCC夕学講座

Topic

# インターンシップの実施について

2018.9.10-14, 9.12-16, 12.25-27, 2019.1.7-8 平成最後の年である平成30年度、経済学 部では新たな取り組みとして、インターンシッ プ研修(以下、インターン)に注力しました。今 年度は株式会社山陽新聞社、テレビせとうち 株式会社、株式会社トマト銀行の各社と覚書を 交わし、各社のインターンに学生を受け入れて いただきました。一般的に学生のインターンへ の参加は、就職サイト等を通じて、1~2日間の 期間が多いです。一方で、今回3社にご協力い ただいたインターンはそれぞれ5日間の長い 期間となります。現在、就職に向けて準備を進 めている学生にとって、この5日間のインター ンは『企業で働く』ことのイメージを具現化し ていくことにつながり、非常に有意義な経験・時 間となったことだと思います。このような教育 は、まさに『地域とともに呼吸する大学』として 地域、特に3社のご協力があって実現できた機 会です。今後も学生をいかに社会に送り出し、 貢献していくか、地域とともに考えていきたい と思います。 (経済学部 准教授 井尻裕之)

Topic \_\_

# 里庄町まこもたけ連携活動について

2018.9.25-10.15

里庄町は、8年前 より主に高級中華 料理食材として流通 しているイネ科の 植物「まこもたけ」 の特産品化に向け、 新たな生産者を増



やす施策を実施している。本学は昨年度から 学生を派遣しこれに協力している。昨年度は、 特に大変な作業である収穫と出荷をお手伝い しながら生産者と交流し、販売に向けた学生の アイディアを提出した。今年度は町からの委託 研究として、今年新規就農された6件の方の収 穫をサポートしながらヒアリング調査し、新規 生産者獲得や里庄まこもたけのブランド化に 関するマーケティング戦略について検討する という取り組みを行った。収穫支援は9月25 日より10月15日の間で計5日、延べ20名の 学生が関わった。その後、11月の里庄産業文 化祭での舞台に立っての広報活動、生産者会 議での意見交換にも加わった。さらに、新たな 生産者を募集するチラシも作成した。なお、参 加学生のうち3名は卒業論文としてこの活動 をまとめている。これら一連の取り組みは、山 陽新聞や笠岡ケーブルテレビで報道されたと ともに、町や生産者の方々からも感謝され、地 域と呼吸する大学を標榜する本学の地域への 貢献を実現できたと思われる。

(経営学部 教授 三好 宏)

# 日本政策投資銀行と協定締結

2018111

本学は、株式会社 日本政策金融公庫 (以下、日本公庫と 略称)と「業務連携 に関する協定」を締 結することになり、 2018年11月1日



に、本学の井尻昭夫学長と日本公庫岡山支店 の龍門壮太支店長が協定書に署名して、交換 いたしました。

本協定は、日本公庫が同年10月1日に統合 10周年となることを記念して締結されたもの であり、「岡山商科大学と日本公庫が緊密な協 力と信頼関係のもとに幅広い分野で相互に協 力・連携し、互いが有する資源や機能等の効果 的な活用を図りながら、地域経済の活性化お よび地域社会の発展に寄与すること」を目的と したものであり、6項目の具体的連携事項から 成っています。

また、本協定締結を記念した学生向け講演 会を、本学及び日本公庫の共催、中国税理士 会後援により同年11月8日に開催しました。 当日は、泉高憲氏(選客万来OFFICE代表)に よる「未来のビジネスの作り方・これからの働 き方~予測不可能なこれからの時代を生き 残るために~」と題する講演があり、本学アク ディブラーニング·ルームを埋めた約160名 の出席者に多くの示唆を与える講演会となり ました。 (副学長 田中康秀)

Topic /

# 「ブックハントツアー」について

2018.11.10

2018年11月10 日、丸善雄松堂協賛 の元、丸善岡山シン フォニービル店に て、「ブックハントツ アー2018」を開催 しました。



上記企画は、学生と図書館員が書店へ直接 出向き、図書館に置いてほしい本を選び購入 するという内容であり、本年度よりスタートし ました。

今回、法学部から1名、経済学部から1名、経 営学部から1名、図書館員1名の計4名が参加 しました。

舞台となった丸善岡山シンフォニービル店 は、岡山県内有数の大型書店であり、最初はあ まりの蔵書数に学生さんも戸惑っていました が、丸善店員や図書館員にアドバイスを受けな がら、皆さん思い思いの本を選ぶことができま l,t-

また、ブックハントツアーで選んだ本を配架 するコーナーも、学生が主体となって企画·作 製してもらいました。

この企画により、学生の皆さんに図書館をよ り身近なものと感じていただき、大いに利用し てもらえることを期待しています。 (図書課)

Topic \_

# 真庭市社地区での竹灯ろうづくり

真庭市社(やしろ)地区では、大晦日の夜に、 地元の刑部神社をお参りする帰省者や観光客 を竹灯ろうの幻想的な灯りでもてなすイベント 「やしろ竹あかり」を一昨年から開催していま す。その際に使用する竹灯ろうを制作するた

め、平成30年11月 17日(土)に、社地 域振興協議会、真庭 市役所湯原振興局 からの依頼により、 昨年に引き続き竹 灯ろう作りのワーク ショップに参加しました。



本年度は、商学科3年の橘髙七海さん、法学 科2年の髙谷龍一さん、経営学科1年の辻岡 来夢さん、板谷珠貴さんが参加しました。先ず 始めに、竹林から切り出した竹に、ドリルのサ イズに合わせたマークが幾何学模様に配置さ れたシールを貼り付けます。次ぎに、電動ドリ ルを使って穴を空け、最後にシールを剥がして 数本の竹を自立するように組み上げて完成で す。作業は午前中から始まり、お昼には地元の 皆さんが手作りのカレーでもてなしてくださ いました。夕方には全ての竹灯ろうが完成し、 LEDで灯りが点灯されると、地域住民と学生 から大きな声があがりました。

(産学官連携センター)

Topic O

おかやま大学生人権パートナーシップ推進事業 犯罪被害者支援同好会つぼみ主催第二回講演会 演題「夢をあきらめない~諦めなければ 道は必ず開かれる~」 講師 石黒由美子さん 2018.11.20

2018年11月20 日(金)10:30より 本学781号教室に て、表記のとおり講 演会が開催されま した。これは岡山県 の人権啓発にかか



る事業の採択を受け、犯罪被害者支援同好会 つぼみが犯罪被害者支援の啓発を意図して企 画したものです。

講師の石黒由美子さんは、交通事故に遭い顔 だけで500針以上縫う大けがをされ、様々な後 遺症に苦しみながらも、想像を絶する努力でオリ ンピックに出場するという夢を実現させた方で す。当日は刑法の受講者をはじめ、地域の方、ま た体育会系の学生達、教職員が数多く集まり聴 講はた。

犯罪被害者は、被害そのものの苦しみのみ ならず、プライバシーが害されたり、「被害者 のほうにも非があったのでは」といったいわれ のない非難にさらされる二次被害にも悩まさ れます。石黒さんも、顔の傷跡を「フランケン」 と言われたり、こちらに非の無い停車中の事 故であったにも関わらず、そのことが正しく報 道されなかったりして、やはり二次被害に苦し む経験をなさっていました。しかし、石黒さん は、ご自身の努力とポジティブなお母様や周囲 の人の励ましや支えによって、夢を諦めず実現 させることができました。「皆さんに超えられ ない壁はありません。そして、人を励まし支え る側の人にもなって欲しいです。」と晴れやか にお話になる石黒さんに、ハンディキャップを 背負った人も、周囲の励ましや支援によって花 開くことができることを教えて頂きました。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

# IR講演会の開催について

2018.11.22

去る2018年11月22日(木)に岡山商科 大学 社会総合研究所 産官学連携センター主 催の「IR講演会」が開催されました。冒頭には、 大﨑紘一副学長のご挨拶、終わりには三好宏 教授の閉会の辞がありました。このIR講演会

# Topic News

は、過去には毎年秋 の大学祭で「学生 と投資家のための 会社説明会」と題さ れていたもので、通 算5回目となりまし た。大学祭は、ライ



ブコンサートや模擬店に忙しいわけですが、今 回は経営学部のゼミ(三好先生、高林先生な ど)のご協力もあり、1社目の「クレスコ」(東証 1部、東京都港区)には、150名近い参加者、2 社目の地元岡山からの「カワニシ ホールディ ングス」(東証2部、岡山市北区)にも80名近 い参加者が集まりました。文字通り、学外から も投資家、証券・銀行、PR業界等から数十名の 参加があり、活況な「IR講演会」でした。

午後からの2部構成でしたので、各講演の前 には、社総研 客員教授の近藤一仁が「IR就活の 勧め」と題したミニ講義を行いました。東京から ご参加となったクレスコの米崎道明 広報IR推 進室長は、『私が前の会社に長続きしなかったの は、教授が言われたように「就職」ではなく、「就 社」してしまったから一』と冗談交じりの弁舌さわ やかな講演でした。地元の岡山からご参加のカ ワニシHDの前島洋平 社長の講演は、単なる会 社説明会ではなく、最先端の病気の検査診断技 術の話題も豊富で、さすがに元岡山大学医学部 の教授だった内容の濃い講演でした。最後にな りますが、昔は無かった「学生のための会社説明 会」も人手不足からか、増加傾向にあります。実 際の講演会はもとより、ネット上でも「オンライン 講演会」が盛んになってきています。大事な「就 活」に是非、IR情報を活用して、就職しても3年で 会社を辞めるような事がないように、「IR就活」を 心掛けて欲しいものです。

(社会総合研究所 客員教授 近藤一仁)

Topic 💍

# 岡山商科大学学会学術講演会 「もっともらしい『証拠』への過信が 生む落とし穴と、えん罪事件」

講師:堂島総合法律事務所弁護士 廣瀬--平先生 2018.12.6

2018年12月6日 (木)午後2時40分 より、本学781教室 において表題の学 術講演会が開催さ れました。当日は痴 漢のえん罪事件に



ついてお話いただけるとあって、学生達の関 心も高く、法学部はもちろん他学部の学生達・ 教員も多数聴講し立ち見が出るほどでした。

講演では裁判の中での証拠の位置づけや 逮捕から勾留、起訴に至る手続きを平易にご 説明いただき、取り調べの様子を臨場感たっ ぷりに具体的にご説明いただきました。「被害 者が嘘を言うはずがない」「こいつが犯人に決 まっている」という思い込みによって生じたバ イアスが、いかに人の判断を誤らせるかがよく わかりました。冷静に考えれば筋の通らない論 証が、有罪を結論づけるための筋書きに載せ られてしまうと、説得力があるもののように聞 こえてしまう。裁判では証明力が高いとされる 物的証拠でさえも、有罪の筋書きに無理矢理 当てはめてしまえば、無実の人をえん罪に陥れ てしまえる。…痴漢えん罪事件に巻き込まれか ねない男性諸氏はもちろん背筋が寒くなる思 いで聴いたと思いますが、男性ではなくとも、 えん罪事件ではなくとも、こうした思い込みに よる過ちというのは誰でも日常生活のあらゆ る場面でも生じそうなことで、気をつけねばら ないと思いました

そして、このようなえん罪事件を無罪に導い た廣瀬先生の弁護活動はそのままドラマになり

そうで、感銘を受けた法学部の学生からは「やは り弁護士という職業は粘り強く考え、依頼人を信 じて戦う精神力と頭の良さが必要なのだと思っ た」「死刑制度に賛成だったけど、考えを改めた」 等といった感想が聞かれました。

(法学部 准教授 加藤摩耶)

# 中国税理士会と協定を締結

2018年12月12 日、中国税理士会 (中国地方の税理 士組織)と本学は、 中国税理士会から 提供される寄附講 座「税理士による



租税講座」に関する協定を締結しました。岡 山県内の大学では初となるこの寄附講座は、 2019年度から経営学部経営学科において 開講予定です。さらに、2019年度の寄附講 座は、日本税理士会連合会(税理士の全国組 織)が全国6大学で実施する講座のひとつで

本学ではこれまで、中国税理士会や商税会 (本学と関連がある税理士の組織)の協力を 受け、会計分野の講義に税理士を招いたり、税 理士事務所インターンシップを実施するなどし て、学生が税理士の業務を知る機会を設けてき ました。今回の寄附講座は、毎回、税理士が税理 士業務などについて講義するものです。それゆ え、この寄附講座は、とくに税理士に関心をもつ 学生にとって、実務上の経験を交えながら専門 的知識を学習できる貴重な機会になるといえ ます。 (経営学部 教授 川本和則)

# 2018年度冬季献血活動 実施結果のご報告

2018.12.12

私達学友会執行本部は去る2018年12月 12日に、日本赤十字社岡山県支部様との合 同事業として、学内で献血活動を実施致しま した。本学での前回の献血活動は2015年の 秋と、3年間実施していなかったこともあり、ポ スター掲示や学生へのメール配信、教職員の 方々へのお願い、学内放送など、広報活動に力 を入れました。

献血活動当日は風が冷たく非常に寒い日で はありましたが、14時15分の受付開始直後 から学生や教職員の皆様が次々にお越しくだ さり、受付が最大1時間待ちとなるほどご参加 頂きました。最終的には献血者数が前回の27 名に対して今回は52名と約2倍に増え、日本 赤十字社様も非常に感謝しておられました。

今回、学友会執行本部の部員数が少なく 様々なご支援を頂いての実施となりましたが、 無事に実施することができ皆様には部員一同 感謝しております。今回の結果を踏まえ、来年度 以降も献血活動を実施していく方針でございま す。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

(学友会執行本部)

# OTEXおかやまテクノロジー 展への出展について

2019.1.24-25

2019年1月24日(木)、25日(金)の2日 間、コンベックス岡山において岡山県内のも のづくり企業、企業活動を支援する各種団体 及び県内の大学が一堂に会した「OTEXおか やまテクノロジー展」が開催されました。岡山 県、岡山県産業振興財団が主催する同イベン

トは、本年度で4回目を迎え、172の企業・団 体が出展する規模まで拡大しています。

本学は、岡山・産学官連携推進会議の-としてブースを構え、平成29年から採択を受 ける文部科学省·私立大学研究ブランディング 事業、地方自治体と締結した包括協定の状況、 フィールドスタディの実績及び新庄村に設置 した情報杭に関するパネルを展示しました。本 学ブースには、先端技術を持つ県内企業で活 躍する卒業生や、地域連携に携わる方が訪れ、 様々な情報交換を行うことができました。 会場では同時に「ビジネスプランコンテスト

おかやま」の最終審査会が行われており、本学 はサポーターとして、ベンチャー企業の審査に も参加しました。 (産学官連携センター)

# 第14回京山地区ESDフェス ティバルについて

2019.1.26-27

2019年1月26 日(土)、27日(日)の 両日、岡山市北区京 山公民館において、 ESD(Education for Sustainable Development:持 🖥



続可能な開発のための教育)への理解を広め ることを目的とした第14回京山地区ESDフェ スティバルが開催され、学生・教職員が参加し ました。昨年度に引き続き、スタンプラリーの 運営を行うとともに、美作海田地区でのフィー ルドスタディで譲り受けた"天日干し番茶"の販売を行いました。番茶はここ数年、特に好評を いただいており、準備をした70袋は学生の積 極的な販売活動により見事完売しました。

国際理解の行事では、経営学部商学科の全 円子准教授、ソユンゾン講師によるドングリ粉 を使った韓国の伝統料理の紹介を主題とした 交流会が行われ、他にも大連海洋大学からの 留学生、張瀟娟(チョウ ショウエン)さんによる 中国戯曲の披露が行われました。

地域の防災をテーマとしたワークショップで は、本学留学生が昨年7月の西日本豪雨災害 で体験したことの発表が行われました。また、 本学に設置された避難場所の状況についての 報告も行われ、災害発生時にいつ、どこへ避難 すれば良いのか、弱者はどうやって助けたら良 いのか、積極的な意見交換が行われました。

(産学官連携センター)

# 「吉備学園コンサート2019」

2019年2月9日(土) 15:00より岡山市立 市民文化ホールにおいて『吉備学園コンサ・ ト2019』が開催されました。

このコンサートは平素より協力して活動す ることが多い大学吹奏楽部と附属高校吹奏楽 部がその成果を披露する場として昨年度より 開催しています。

当日は小雨が降る寒い日だったにもかかわら ず、約300人の方々にご来場いただきました。

コンサート1部では、大学生、高校生による アンサンブル演奏と大学の卒業生、高校の卒 業生を交えての総勢40名による吹奏楽演奏、 2部は附属高校筝曲部による演奏、3部は再び 40名による吹奏楽で、附属高校チアリーディ ング部に賛助出演いただき、ポップス、ジャズ など10数曲を演奏、多彩なプログラムと若さ 溢れる演奏で聴衆を魅了しました。

来年度は2020年2月9日(日)開催予定で す。是非ご来場くださるようお願いいたしま す。 (吹奏楽部 顧問 石原 憲)

# ボウリング・石本美来さん 入賞・受賞続々。

昨年8月にジャカルタ・パレンバンで開催された「第18回アジア競技大会」のボウリング・女子マスターズ でアジア女王に輝いた石本美来さん。その後も輝かしい躍進を遂げると共に、多くの団体・企業から、栄誉を称 える賞が贈られていますので、ご紹介をいたします。

(アジア後の成績)

2018年10月に福井県で開催された「第73回国民体育大会」のボウリング競技では、女子2人チームで見事 優勝を果たしています(女子4人チーム4位、女子個人4位)。また、2018年11月に神奈川県で開催された大 学生日本一を争う「第56回全日本大学ボウリング選手権大会」の女子2人チームで優勝を獲得しました。この 大会3連覇となります。

今年に入ってからの大会では、京都府で2月に開催された「第50回全日本大学個人ボウリング選手権大会」 へ出場し3位の成績を収めました。3月には本学学生としては最後の大会となる第57回全日本ボウリング選手権大会が控えており、有 終の美を飾れるか注目されるところです。

こうした活躍を受け、2018年11月30日に、石本さんの出身地である広島県において「スポーツにおける国際大会及び全国大会に おいて優秀な成績を収め、県民に明るい話題を提供し、県勢の高揚に寄与した個人又は団体」に贈られる、 「広島県体育・スポーツ知 事表彰」を受賞しました。さらに、2019年1月10には、中国新聞社が2018年に国際大会や全国大会で輝かしい成績を挙げた中国地 方にゆかりある個人・団体に贈る、「第62回中国スポーツ賞」を受賞しました。

岡山県内では、2019年1月26日、山陽新聞社が2018年にスポーツで顕著な成績を残した郷土の選手、指導者に贈る「第77回山陽 新聞体育賞」を受賞しました。授賞式では、山陽新聞社代表取締役社長の松田正己氏が、表彰状とメダルを手渡し、これまでの研鑽を 讃えました。また、岡山スポーツ記者クラブがこの1年間に国内外の大会で優秀な成績を収めた岡山県ゆかりの選手、チームなどを選び 讃える「第58回岡山スポーツ賞」が2月20日に贈られました。さらに、岡山市出身で日本人女性初のオリンピックメダリストである人 見絹枝氏の功績に因んで創設された、岡山市が毎年各種競技・大会等で優秀な成績を収めた個人・団体に贈る「岡山市人見絹枝スポー ツ顕彰」を個人及びボウリング部として2月23日に受賞しました。

石本さんは卒業後も実業団でボウリングを続ける予定で、これからも競技を通じて、私たちにスポーツの楽しさと、継続し努力する ことの大切さを伝えてくれることでしょう。 (学生課)



# 変えるべきもの・変えてはいけないもの

吉良友人 経営学部経営学科 講師

突然ですがみなさん、「会計」をご存知でしょうか。私の専門分野なのですが、最近は「簿記とかのやつ!」と言うと伝わるくらいには認知され てきました。そんな会計に関する基準ですが、近年、国際的に統一する動きがあり、基準の開発・改訂が盛んに行われています。

しかし、「企業などに関する情報を貨幣価値ベースで伝える」という目的は変わっていませんし、変えてはいけないものです。基準はあくま で手段であり、これは周りの環境の変化に応じて、目的のために変わるべくして変わっているのです。

さて、この変えるべきもの、変えてはいけないものというのは何にでも当てはまることと思います。例えば、英語をマスターしたいという同 じ目標を持った学生と社会人がいたとします。目標達成のための手段として、留学は学生にとっては有効であり、金銭面以外ではあまり制約も ありません。一方で、社会人にとって困難であるのは想像に難くないでしょう。このように、環境の違いによって選択すべき手段は変わります。

では、社会人は英語をマスターするという目標を簡単に諦めるべきかというと、私はそうは思いません。目的や目標は生きる上で大切なも のであり、コロコロと変える類のものではないからです。何が言いたいのかというと、目的や目標はじっくり考えた上で設定し、大切にしてくだ さい。そして、行き詰まった時にはこれを放棄するのではなく、視野を広げて手段のほうを変えてみましょう。何かが見えてくるかもしれません (と自分にも言っています)。

最後に私事ではありますが、最近、健康診断で肝臓関連の数値が良くありません。そうです、お酒に蝕まれているのです。ついに三十路に達 して体内環境にも変化を感じているので、「楽しく生きる」という目的のための手段の1つを、「アホみたいに呑んでワイワイ騒ぐ」から「美味し く大人な呑みをする」に変えるべきだな一(けど無理(断言))、と思う今日この頃です。

を浴びているわけですが、根っこは同じさんおわかりと思います。 らさまにします。プライバシーの保護が叫ばれインターネットの動画も、私たちの行いをあか 問題はないわけですが。 る一方で、これ れません。ドライブレコーダーの記録映像も、 2、昔から存在していました。現代になって、このような出来事や事件を引き起こす人間 天に恥じるようなことがなければ、 さらに赤裸々に暴き出してしまうでしょで、これからの時代は、一人一人の生き なども、 同じかも知 ば、

皆

ずに住宅の土塀に激突。救急車を呼ぶ騒ぎにな車を先に行かせたところ、その先で曲がりきれが運転する車が、山道で執拗にあおられ、その他にも、その頃だったと思いますが、私の父 ったという話を、 他にも、その頃だったと思いますが、恐怖は、今でもまざまざと覚えています。 をやり過ごすことができましたが、 がらです。 あるとき幹線道路から曲がり、 父から聞かされたことがあ そのトラッ \* あのときの

た。しかし、そのトラックは対向車線にまではを感じ、バイクの機動性を生かして逃げまし きました。 帰宅途中トラックに執拗にあおられたことが み出して、 れ、跳ね飛ばさんばかりに接近され、 と。大学にバイク通学していた私は、ある日 てきました。今からもう三十七 こちらはごく普通に通行していただけでし いきなりすぐ後ろでクラクションを鳴らさ まるでスピルバーグの 他の車を追い抜いてまで追いかけ 年ほど前のこ 私は恐怖

江戸川乱歩賞作家 本学非常勤講師(第十七期商学部卒) 石井 飯弘

呼ばれる事件が、盛んに報道されるようになっ近頃、あおり運転など、「ロードレイジ」と

あおり運転など、

何

# Asia Report アジアレポート

# 2018年度孔子学院便り

岡山商科大学孔子学院は、2007年に創立して以来、中国語教 育及び中国文化の正しい理解とその普及に努力を積み重ねてま いりました。昨年度十周年の式典を節目に、新たな十年に歩み始 めております。2018年度には下記の通り、事業を展開しました。

中国語教育は孔子学院の三大柱の一つです。今年度の中国語 教育は入門、初級、中級、上級と上級会話、特訓クラス、個人レッ スン、HSKクラスに分けており、それぞれ昼と夜のコースを設け ております。倉敷に設けている中国語教室を入れて、年間38ク ラスあります。それぞれ年間合計36週間の授業があります。同 時に、孔子学院の講師が8クラスの大学単位の中国語授業を担 当しており、年間合計30週間の授業があります。一般市民向け の中国語ラジオ講座はRSKとRadioMOMOの二局で行い、合 計年間76回行います。

## 2.文化イベント

孔子学院の二番目の柱は学術文化イベントです。市民の皆様 には多彩な文化イベント(中国語朗読コンテスト、文化講座など を含め)22回、延べ933人にご参加いただきした。

地域コミュニティに出かけ、孔子学院に来てもらうことにより、 様々な中国文化体験イベントを開催させていただきました。中 国の伝統風習の文化イベント(餃子作り、粽作り、中国茶を楽しむ 会、切り紙など)を通じて、文化理解を深めることができ、中国の ことをより知り、親しみを持っていただく良い機会となりました。 他に、専門家をお招きし、中国語教育研究会、中国経済講座、中 医学講座を行いました。孔子学院の日のイベントに合わせ、文化 講座が行われ、多角的に中国を紹介しました。

## 3.中国語ラジオ講座と遠隔講座

岡山のラジオ放送局RSKでの中国語講座は既に十年間続き、 中国語学習者に活用されています。RadioMOMOでのラジオ 講座は三年続き、ネットでの放送もあり、岡山に位置する孔子学 院により多くの宣伝のプラットホームを提供し、より多くの視聴 者に中国文化に触れ、現代中国を知る機会となりました。それか ら、津山商業高校の高校生に対し、遠隔講座を行っております。

今年は孔子学院RSKラジオ講座が開講十周年にあたり、当該 番組の司会者を孔子学院にお招きし、特別収録を行い、番組の すばらしさを披露しました。このイベントは毎年恒例化された「孔 子学院の日」のイベントと融合し、今年の孔子学院の日のイベン トはより豊富なものとなりました。各レベルの中国語授業のミニ 講座、中国文化講座、中国茶文化体験など中国及び中国文化に 興味のある地域の皆様にご参加いただきました。

#### 4.中国側との合作によるイベント開催

中国側協定大学である大連外国語大学及び協力機関との連 携で、大連外国語大学民族楽器演奏団による中国伝統民族楽器 鑑賞会、商大生の中国でのサマーキャンプ、「魅力中国語・美しい 遼寧」という中国語スピーチコンテストの6名の受賞者の中国訪 問研修などのイベントを行いました。中でも、今年も12名ほどの 商大生がサマーキャンプに参加し、前後に授業を行うことで、単 位を取得できました。それから、孔子学院奨学金生が順調に中国 での大学生活のスタートを切りました。

## 5.地域への貢献

地域への貢献は孔子学院の重要な仕事の一つです。中国語を 広めると同時に、地域の皆様のニーズに合わせ、イベントを開催しました。今年も現地のコミュニティの要請に応じたり、大学・高 校の文化祭に参加したりして、地域の住民に中国料理・中国文化 の体験イベントを開催しました。地域の住民や学生に近距離で 中国文化に触れ、中国を知る機会となり、好評をいただきまし た。長年来、地域に入り、イベントを続けることは、岡山商科大学 孔子学院の大きな特色でもあります

# 6.大学及びその他の孔子学院との協力

今年の端午節交流イベントは、岡山商科大学経営学部商学科 とのコラボで、大学生と留学生とともに文化体験イベントを開催 しました。日本人学生が中国文化に触れるチャンスともなり、留 学生が日本人学生との交流を深めるチャンスともなりました。岡 山商科大学の蒲和重教授には中国経済講座を行っていただきま した。

また、他の日本の大学の孔子学院と協力し、交流分野を広げま した。今年は北陸大学孔子学院と協力し、中国の青年卓球選手と 岡山商科大学卓球部の学生と友好試合を行い、両国の青年の相 互理解を深めました。そして、神戸東洋医療学院孔子課堂と協力 して、福家慎太郎課堂長による中医学講座を行いました。

(孔子学院副学院長 肖 爽)

# 農泊モニターツアー(玉野)について 2018.11.24-25

本学は昨年度中四国農政局と農泊に関する包括的連携協定 を締結し、真庭市北房地区において留学生によるモニターツア ーを実施した。今年度は11月24~25日の1泊2日で、玉野市の 観光組織が用意したプログラムのモニターツアーに留学生10 名が参加した。内容は朝7時に胸上漁港沖にて壺網漁の体験。 漁港のお母さん方と獲れた魚のさばきや巻きずし調理で交流し 、できた料理を堪能。午後は宇野港周辺の海辺や街中を自転車 で巡り、日比観音院にて瞑想体験。夜はたまの湯で夕食後、意見 交換会、温泉入浴と盛沢山なメニューをこなした。翌日は、早朝 渋川海岸でビーチョガを行ったのち、近くの無人島(くじら島)に 渡り、カヤック体験やテント・ハンモックで優雅な島時間を過ごし

た。そして本格的BBQの昼食 後、2日間を通しての意見交換 会を行った。行程は晴天にも 恵まれ、すべて順調に消化す ることができた。今回は漁業、 サイクリング、海辺や温泉とい



う留学生にとっても興味が高いものが多く、楽しんでいる様子が はっきり見えた。留学生たちは「玉野に来るのが簡単になれば中 国人も満足できる内容だ」など活発な意見を出し、関係者には大 いに参考になったと思われる。

(経営学部 教授 三好 宏)

# 剣道・留学生の段位取得

年度当初、6名(男子1名、女子5名)の留学生が剣道部に入部 いたしました。すでに1級を取得し剣道部の一員として稽古して いる2名に加え8名の留学生が商大剣道部員となりました。その 留学生達が剣道部に入部した動機としては、他のスポーツと違っ て礼法や着装、姿勢、目付等の様々な基本動作や精神面を重ん じる日本古来の伝統文化として魅力を感じていることが挙げら れます。特に、木刀を真剣に見立てて行う「日本剣道形」は、真剣 での攻防に近い体得ができるからでしょうか剣道具を装着して の竹刀稽古より興味を持たれます。

さて、一昨年の6月に岡山県剣道連盟主管で剣道級審査に男 子留学生2名が1級を受検し見事合格しました。審査内容は、木 刀による剣道基本技9本、切り返し、そして実技により合否が決 定されますが、二人とも修業期間では先輩の中学生に交じって 臆することなく立派な立ち合いができました。そして、1年後の

昨年6月に昇段審査に挑戦しました。初段審査は、「日本剣道形」 3本目までと実技、そして学科試験が課せられますが見事2名と も合格いたしました。

韓国の女子留学生(3年生)の一人は、11月に半年余りで1級 を取得しました。日本で剣道をすることも留学の目的の一つだっ たそうで、周りが驚くほどの上達振りです。卒業までには初段に 合格したいと頑張っております。

本学の剣道部員には、初心者からインターハイや国体で活躍 した者まで技量的に幅広く在籍しておりますが、初心者で入部し 卒業までに2段を取得する者も出るなど、全部員が段級審査に 対して大変協力的であるように、この万全な支援体制が好結果 に繋がっているようです。その他の結果として、本学の学生に交 じり稽古を続けておられました2名の女子教員も昨年1級に見事 合格しております。 (学生課)

# []ャリア[ロンタ

# 2019年3月卒学生の 就職活動を振り返って

深刻な人手不足から企業が積極的に採用を行う「売り手 市場」により、本学の就職状況は昨年度に引き続き好調で ありました。就職内定率の推移をみると昨年の5月末時点 で42%と既に高く、10月末には90%を超え、更に今年 の1月末には昨年度の最終就職率(97.7%)にほぼ達する 97.5%となりました。このような就職環境になると、大企業 や人気企業、特定の業界にこだわって執着してしまいますが、 本学の学生は広い視野を持って様々な企業にアプローチして いたので、良い結果に結びついたのではないかと感じていま

このような売り手市場の状況は今後も続くと思われるの で、新卒者の早期囲い込みとして活用されるインターンシッ プが、就活生と企業の双方にとって重要なものになるのでは ないかと思われます。

# 2020年3月卒学生の動き

現在、就職活動を行っている本学の2020年卒学生につき ましては、キャリアセンターが勧める就職活動の下準備を昨 年度よりも多くの学生が取り組みました。キャリアセンター で企画した履歴書添削指導 (12月~1月実施) の申込者数は 115名(昨年82名)、SPI対策講座(2月実施)の申込者数 は94名(昨年69名)、就職合宿(2月実施)の申込者数は 28名(昨年20名)と、全ての企画において昨年の申込者数 を大きく上回っています。また、各就職支援業者が開催する 業界研究会や、2月に開催のピークとなる各企業のインター ンシップに半数以上の学生が参加していたように思われま す。このことから、就職活動の早期化が進む中、早めの下準 備により万全の状態で3月の就職活動解禁を迎えることがで きたのではないでしょうか。就職活動では1つの事にこだわり すぎてしまうと周りが見えなくなるので、学生の皆さんには広 い視野を持って柔軟に対応できるように心掛けて欲しいと思 います。私たちキャリアセンターとしても、個々の学生が何を 考え、どのような就職活動をしているのかを的確に把握し、そ の学生に合った個別支援に努めていきたいと考えています。

(キャリアセンター)

# Information

#### 情 報 ル h 力

# 2018年度部活動戦績

(学生課)

サークル名	氏	名	学 年	大会名	種目 種別 階級等	結果	出身校
ウェイトト レーニング部	佐藤	佑哉	4年	第45回全日本学生パワーリフティ	53kg級	準優勝	岡山龍谷高校 (岡山)
	田辺	陽太	2年	ング大会	59kg級	8位	第一学院高校 (広島)
					男子団体	優勝	
弓道部				第51回中国学生弓道競技大会	男子団体	射道優 秀校	
				第30回全国大学弓道選抜大会	団体	出場	A #L ** ** = ! = !
剣道部	佐藤	尚樹	4年	全日本学生剣道選手権大会	個人	出場	倉敷商業高校 (岡山)
	清親	直人	3年		個人	出場	津山東高校 (岡山)
				平成30年度中国六大学野春季 リーグ戦	団体	6位	
<b>通式解抄</b> 部				平成30年度中国六大学野球秋季 リーグ戦	団体	4位	
硬式野球部	真鍋	秀平	3年	平成30年度中国六大学野球秋季	個人	ベストナイン 賞(三塁手)	明徳義塾高校 (高知)
	藤本	海斗	1年	リーグ戦	個人	ベストナイン 賞(外野手)	岡山県作陽高 校(岡山)
				第55回全国大学ゴルフ対抗戦	団体	出場	
	関	皐太	2年	2018年度(第55回)日本学生ゴ ルフ選手権競技	男子個人	出場	関西高校(岡 山)
ゴルフ部	中西	麻奈	3年	第60回日本女子アマチュアゴル フ選手権競技	女子	出場	興陽高校(岡 山)
	中西	麻奈	3年	2018年度(第55回)日本女子学 生ゴルフ選手権競技	女子個人	出場	興陽高校(岡 山)
	中西	麻奈	3年	2018山陽新聞レディースカップ	個人	出場	興陽高校(岡 山)
	和田	光輔		岡山県「オリンピアン・パラリンピアン育成事業」	個人	強化指定 選手決定	倉敷翠松高校 (岡山)
	和田	光輔	2年		10mARS60M	出場	倉敷翠松高校 (岡山)
射撃部	室山	侑太	4年	第64回全日本学生スポーツ射撃 選手権大会	50mP60MW	出場	倉敷翠松高校 (岡山)
別学部	平松	大雅	4年		10mS60M	出場	倉敷翠松高校 (岡山)
	内田	蒼唯	2年		10mS60M	出場	倉敷翠松高校 (岡山)
	石川	海渡	2年		10AP60M	出場	高瀬高校(香 川)
				平成30年度 第67回全日本学生 柔道優勝大会	男子団体	ベスト32	
				平成30年度 第27回全日本学生 柔道優勝大会	女子団体	ベスト16	
柔道部				平成30年度全日本学生柔道体重 別団体優勝大会	男子団体	出場	
				平成30年度全日本学生柔道体重 別団体優勝大会	女子団体	出場	
	矢野	誠登	2年	全日本ジュニア柔道体重別選手権 大会	90kg級	出場	延岡学園高校 (宮崎)
	宮川	卓也	2年	全日本学生柔道体重別選手権大会	100kg 超級	ベスト16	神戸国際大学附 属高校(兵庫)
	石井	翔大	4年	第73回国民体育大会柔道競技	団体	出場	神戸国際大学附 属高校(兵庫)

柔道部	神森	拓馬	4年	第73回国民体育大会柔道競技	団体	出場	近大附属広島 高校(広島)
	澤田	将志	4年	第75世國民体育人公未追溯汉	団体	出場	天理高校(奈 良)
	松本系	泛乃佳	3年	第15回湊谷杯全国学生柔道体重 別選手権大会	48kg級	ベスト8	兵庫商業高村 (兵庫)
				第88回全日本大学総合卓球選手 権大会・団体の部	男子団体 女子団体	出場出場	
	北野	辰樹	3年		男子シン グルス	出場	高松中央高橋 (香川)
	中尾	久志	4年		男子シン グルス	出場	広島商業高村 (広島)
	清水	優陽	3年		男子シン グルス	出場	福山葦陽高村 (広島)
	古市	翔	3年		男子シン グルス	出場	高松中央高校 (香川)
卓球部	前山	優也	1年		男子シン グルス	出場	高松中央高校 (香川)
	坂口陽芽菜		1年		女子シン グルス	出場	岩国商業高校 (山口)
	福永	加奈	3年	第05回入口士士尚然人占计器工	女子シン グルス	出場	高松中央高校 (香川)
	北野中尾	辰樹 久志	3年 4年	第85回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部	男子ダブ ルス	出場	高松中央高校 (香川) 広島商業高校 (広島)
	池村清水	雄 優陽	1年 2年		男子ダブ ルス	出場	徳島商業高橋 (徳島) 福山葦陽高橋 (広島)
		加子加奈	4年 3年		女子ダブ ルス	出場	明誠高校(島根) 高松中央高橋 (香川)
	井内坂口降	美咲 湯芽菜	1年 1年		女子ダブ ルス	出場	明誠高校(島根) 岩国商業高橋 (山口)
軟式野球部				平成30年度西日本地区学生軟式 野球春季I部リーグ戦	団体	4位	
				文部科学大臣杯 第56回全日本	男子団体	3位 優勝	
				大学ボウリング選手権大会 第47回全日本クラブ対抗ボウリン	女子団体	※2連覇	
				万選手権	団体	3位	
ボウリング部	石本	美来	4年	第18回アジア競技大会	女子マス ターズ	優勝	広島国際学院 高校(広島)
	石本	美来	4年	文部科学大臣杯 第56回全日本大学ボウリング選手権大会	個人	ハイアベ レージ賞	広島国際学院 高校(広島)
	石本	美来	4年	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018	女子2人 チーム	優勝	広島国際学院 高校(広島)
	高良	綾音	3年	文部科学大臣杯 第56回全日本大学ボウリング選手権大会	個人	ハイゲー ム賞	那覇商業高校 (沖縄)
	藤原	智也	2年	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018	男子4人	5位	能登川高校 (滋賀)
	川崎	未来	1年	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018	男子2人 チーム	準優勝	和歌山北高校 (和歌山)
	川崎	未来	1年	第51回全日本新人ボウリング選 手権大会	個人	準優勝	和歌山北高校 (和歌山)
陸上競技部	伊藤	剛史	4年	天皇賜盃第87回日本学生陸上競 技対校選手権	ハンマー 投	出場	鳥取中央育英 高校(鳥取)

# |私立大学等改革総合支援事業 平成30年度

2018(平成30)年度の各タイプの内容について、概要と申請状況を説明します。

タイプ1 「教育の質的転換」は、過去5年間同じですが、大学に於ける教育の質の保証に向けて内容が深化されました。全学的な体制での教育の質的転換と高大接続改革の取組みを、組織運営の活性化6項目、教育内容・教育方法に関する取組みの28項目で84点満点の配点となっています。

過去5年間取り組んできた実績と、設置した各種アクティブラーニング教室等の教育施設の充実により、教育の質向上に寄与していることから、常に前向きに取組む必要があり、申請をすることにしました。本年度の申請項目の内で達成できていない項目については、他大学等の先進的事例を参考にして、次年度に向けての申請を含めて教育改革を将来構想検討委員会、自己点検評価委員会、全学教職員会議で議論し教職員全員の協力を得て前向きに取組んでいます。

タイプ2「産業との連携」は、本年度から産業界を中心とした連携による高度な教育研究となり、12項目で52点満点の配点となっています。資金、知の好循環の項目は、本学が社会科学系の学部に特化していることから、企業との共同研究による外部資金の獲得、成果としての知的財産の企業での活用事例が少なく不利ではありますが、産学官連携センターを設置して活動を推進していますので、今後のセンターの活動の方向性を考慮して申請を行ないました。

**タイプ3**「他大学との広域・分野連携」は、国内の他地域の大学等と連携した高度な教育研究支援であり、17項目で49点満点の配点となっています。このテーマでは、国内の他大学との連携活動は従来積極的ではなかったですが、今後の状況を踏まえて、申請しました。

タイプ4「グローバル化」は、国際環境の整備、地域の国際化等、多様なグローバル化の活動であり、26項目で86点満点の配点となっています。本学は、過去30年間に中国、韓国の大学との交流協定締結、留学生の受入を実施し、実績を積んでいるので、申請をしました。

タイプ5「プラットホーム形成」は、2018(平成30)年度から支援事業の1テーマとして新設されたものであり、各大学等の特色・資源集中を促し、複数大学間の連携、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットホーム形成を支援する内容です。私立大学である本学は、「建学の精神」に鑑み、大学間包括協定を締結している大学とのプラットフォームの形成に関する学内議論は行ないましたが、他大学との調整にまでは至らず、本年度は、このテーマに関しては応募しないことにしました。

2019年2月26日、文部科学省より同事業タイプ1、タイプ2、タイプ4の採択が公表されました。

(副学長 大﨑紘一)

# 私立大学研究ブランディング 事業 平成30年度の経緯

2年目を迎えた事業について、研究統括グループ会議1回、研究推進グループ会議2回を開催し、16研究テーマの全てについて、本年度の現地ヒヤリング調査、アンケート調査等具体的な活動の確認と進捗状況の報告が行なわれました。

2018(平成30)年度シンポジウム「『寄り添い型研究』による地域価値向上」を開催しました。内容は、特別講演 (株)リレイション 代表取締役 祁答院 弘智 氏、研究総括 商学科 教授 三好 宏、研究発表1 商学科 准教授 松浦芙佐子、准教授 黎暁妮、准教授 全円子、講師 徐沇延、研究発表2 経営学部商学科 教授 天野雅敏、研究発表3 経営学部商学科 准教授 海宝賢一郎、教授 髙林宏一でした。

研究グループは、2018(平成30)年4月から、本学に赴任した松井温文教授が「芳賀地区の農家との共同生産と販売-清水白桃と野菜を対象に」で研究に参加され、2019(平成31)年3月31日で本学を退職される岸田芳郎教授は、研究組織から外れることになりました。また、伊藤治彦教授、倉持弘講師が「食と法・行政法と民法からのアプローチ」で研究を進めることになりましたので、社会的側面の4研究テーマ、経済的側面の12研究テーマ、合計16研究テーマとなっています。(表1)

2018(平成30)年度も研究の進んでいるテーマについては、二松學舎大学と共同で「寄り添い型研究による地域価値の向上」(案)として出版を計画しています。研究成果をまとめる先生方は以下のようです。

① 加藤真也 准教授、田中勝次 教授、佐々木昭洋 講師、② 国光類 講師、三谷直紀 教授、田中勝次 教授、佐々木昭洋 講師、③ 松浦芙佐子 准教授、黎暁妮 准教授、全円子 准教授、徐沇延 講師、④ 西敏明 教授、⑤ 横澤幸宏 准教授、三好宏教授

広報活動では、記事掲載は、山陽新聞3回、教育学術新聞1回、そして大学学報2回でした。パンフレットを更新し、商業教育に関する意見交換会、岡山県産学官連携推進会議和気町産学官連携交流会、OTEXおかやまテクノロジー展、タ学講座の講座開催日にパンフレットを配布しました。

2019年3月14日(木)、2018(平成30)年度第3回「研究推進グループ会議(報告会)」を、教育研究協議会委員、R B委員会委員、市町村関係者、本学教職員、学生の参加のもと、16研究テーマについて、成果の発表会を開催しました。 (副学長 大崎紘一)

#### 表 1. 岡山商科大学 研究ブランディング事業 研究テーマと研究対象地域 一覧表

社会的側面の研究テーマ	研究者	対象地域
生活の質の向上		
生活の質の向上-結婚・子育でに向けた若 者支援と高齢者の活用	國光講師、三谷教授、 田中勝次教授、佐々木講師	津山市、瀬戸内市
食と法一行政法と民法からのアプローチ	伊藤教授、倉持講師	岡山市
自然環境との共生		
農業振興と自然環境との共生に関する経済 分析	加藤真也准教授、 田中勝次教授、佐々木講師	津山市
文化、歴史、ダイバーシティの保持・推進		
岡山市におけるコミュニケーション支援及 び言葉のバリアフリー化	全准教授、黎准教授、 松浦准教授、徐講師、湯助教	岡山市

経済的側面の研究テーマ	研究者	対象地域
特産品開発		
備前醤油の歴史・現状・展望	天野教授	岡山市、倉敷市、備前市
岡山県におけるフードビジネスと地域活性 化に関する研究	渡邉准教授	総社市
蒜山地域における農作物を活用した特産品 開発	大石准教授、西春奈助教	真庭市蒜山地区
芳賀地区の農家との共同生産と販売―清水白桃と野菜を対象に	松井教授	岡山市
観光開発		
湯原温泉における新たな地域資源を生かし た観光振興	大石准教授	真庭市湯原地区
笠岡市真鍋島の観光振興	三好教授	笠岡市真鍋島
空き家再生		
空き家再生(中古住宅流通の活性化、地域資産の有効活用)	海宝准教授、高林教授、 田中潔教授	瀬戸内市、備前市、津山市
仕事創造		
地域活性化戦略につなげる IOT プラットフォーム開発	箕輪准教授、大﨑副学長、 中村裕課長補佐	真庭郡新庄村
仕事創造: 地元企業への若者の就職支援	大東教授	岡山市
地域内の経済循環の分析・考察 地域経済におけるものづくりの基盤となる組織能力を構成する小集団改善活動の有効性		岡山市、倉敷市
地域内の経済循環の分析・考察		
地域経済における金融の役割	鳴滝教授、田中勝次教授、 蒲教授、松井教授、井尻准教授、 佐々木講師、渡辺助教	岡山市、瀬戸内市
地域ブランド戦略		
地域ブランド戦略ー観光客、移住者の増加に向けた地域ブランド戦略-	三好教授、横澤准教授	和気郡和気町

# 新圧村スタンプラリーの開始について

2018.11.1

新庄村スタンプラリーの観光商品を2018年10月下旬より開始しています。

この観光商品は、リサイクルプラスチック境界杭の大手メーカー(株)リプロから、同社が開発したNFCタグを内蔵した「情報杭®」の提供を受け、本学で新庄村の観光地を巡るスタンプラリーアプリを開発し、新庄村では、各観光地に情報杭®を設置し、観光客に名所を巡ってもらう観光商品です。新庄村のがいせん桜通り、後鳥羽上皇旧蹟などを散策しながら、デジタルスタンプを集めると、道の駅で記念品をもらうことができます。

開発では、アプリがバックグランドモードへ移行した際に、停止してしまい、GPSの取得ができない問題には大変苦労しましたが、現在問題を解決でき無事運用しています。 新庄村さんへお立ち寄りの際は本アプリで遊んで頂ければ幸いです。 (経営学部 准教授 箕輪弘嗣)

# Information

#### アラ 愭 報 ル

# 商大生の学ぶ心に火をともしたフィールドスタディ

過日、顧問をしていた部活の卒業生と在校生による私の定年を祝う会があった。そこで話題になったのが、2012年と 2013年に津山市阿波地区で行った産業構造の変遷、施設の利用実態、農と食の暮らしなどに関する、様々な調査を通じた住 民との交流に関する経験談であった。

それらは1.2年生が中心となり3人一組で初対面の阿波地区の住民宅を訪ねて、聞き取り調査を実施したフィールドスタ ディの事であった。学生達は生まれて初めて親戚以外の家を訪問し、項目にしたがって聞き取り調査を進めた。

学生達と訪問先での触れ合いは調査にとどまらず、住民の地域の将来に対する熱い思いや人生観を学ぶ機会にもなった。さ らに、地域住民の学生に対する数々の思いと助言は、商大生の学ぶ心に火をともした。

調査に参加した学生達は、互いに切磋琢磨しながら文武両道を成し遂げ、自らの夢を実現し社会に飛び立った。先述した祝う 会で、現在、岡山県で初の最年少の税理士になった事、3年間教員採用試験を受験し見事に教員となった事等々が数多く紹介

された。卒業後も調査に参加した同士の交流が続き、12名の中で2組が結婚していた。さらに、来春、1組が結婚することになっていた。 この様に多くの受講生が、卒業後も相互支援しながら社会人として頑張っている。願わくば、フィールドスタディを通じて学んだ数々の宝を、これから の人生に積極的に活用してほしいものである。 (経営学部 教授 岸田芳朗)



最終講義セルモニーで 花束を贈られる岸田芳朗教授

2019.2.15-17

# 3×3バスケットボール日本代表候補トライアウトキャンフ

2月15日(金)~17(日)の3日間本学体育館で標記キャンプが実施されました。

3×3バスケットボールとは、3人対3人で競うバスケットボールです。5人制との大きな違いは、一般のバスケットボー ルコートの半分より縦がさらに短く、その中で1つのゴールを使用し、攻撃、守りがどんどん入れ替わりながらのバスケッ トボール競技です。

新しいバスケットボール競技として、2020年東京オリンピックから正式競技となります。

オリンピック出場は8チームとなっておりますが、現在日本は世界ランキング3位と出場圏内ではありますが、6月に 開催される世界大会等により、出場が決定されるとのことです。

今回、選手強化並びに世界大会の代表者の選考会、更には2020年東京オリンピックに向けた代表選考会の一つとして開催されました。岡山市の進 める東京オリンピック事前キャンプ誘致の一環として、本学園に在籍している5人制バスケットボール元日本代表の納谷幸二附属高校監督及び宇田康 利大学監督の関係もあり、本学で開催される運びとなりました。3日間、本学バスケットボール部員が裏方の仕事も含め、係わりました。直に一流選手の プレイに触れ、感動とともに成長に繋がる何かを掴んだようでした。また、最終日には、一般公開され、100名を超える見学者が来学され、一流選手のプ レイとその迫力に圧倒されているようでした。今後もこのような機会があれば、積極的に本学で受入れできればと思うとともに、今回、参加された日本代 表候補の皆様のますますのご活躍を願い期待しています。 (総務企画課)

# 卒業記念パーティーのご案内

今年度卒業生を対象とした「卒業記念パーティー」を以下のとおり開催します。

1. 日時: 2019年3月22日(金)、12時45分~

2. 場所: 学生会館1階 食堂

3. 会費: 無料

当日は、ささかやではありますがお食事や卒業生の門出をお祝いする企画を用意して お待ちしています。学生生活の最終日、お世話になった先生方と名残を惜しんでいただ ければ幸いです。 (学友会)

# 学位記授与式· 学宣誓式のご案内

学位記授与式

2019年3月22日(金) 10時~

**大学官誓式** 

2019年4月3日(水) 10時~

※いずれも体育館

(総務企画課)

# 慶應MCC 夕学講座 2019年度前期 開催予定

●開催時間 18:30~20:30(開場18:00)

場 岡山商科大学 地域交流談話室(学生会館2階)

パスポート券(15回)10,000円 ●受 講 料 受講券(1回)1,200円

#### 4月11日(木) <新たな基軸を探す経営>

清水 勝彦 (しみず かつひこ)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

「戦略的意思決定力を鍛える~見えるものと見えないもの~」

# 4月12日(金) <日本と世界の論点>

竹中 平蔵 (たけなか へいぞう) 

「日本経済の機会とリスク」

# 4月25日(木) <始まっている近未来>

馬場 渉 (ぼば わたる) パナソニック株式会社 ビジネスイノベーション本部 本部長、 パナソニック ノースアメリカ株式会社 副社長

「大企業イノベーションの起こし方」

対談・佐々木 紀彦 (ささき のりひこ) (株)ニューズビックス 取締役CCO、NewsPicks Studios CEO ※本講演は馬場氏の講演60分・対談30分・質疑応答30分の構成です。

## 5月9日(木) <人間を考える>

田中 利典 (たなか りてん) 金峯山寺長臈、種智院大学客員教授

「修験道の世界〜身体を使って心を修める〜」

## 5月10日(金) <始まっている近未来>

安宅 和人 (あたか かずと) 慶應義塾大学 環境情報学部教授、ヤフー株式会社 CSO(チーフストラテジーオフィサー)

「シン・ニホン~AI×データ時代における日本の再生と人材育成~」

# 5月15日(水) <持続可能な社会を目指して>

小泉 文明 (こいずみ ふみあき) 株式会社メルカリ 取締役社長兼COO

山本 晶 (やまもと ひかる)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

「C2C×デジタルが生み出す新しい経済圏」

# ※本講演は小泉氏の講演45分・対談45分・質疑応答30分の構成

# 5月24日(金) <この人に聞く>

太田 光代 (おおた みつよ)

株式会社タイタン 代表取締役 タイタンの学校 理事長

# 「タイタンの学校のすすめ」

※本講演はトークショー形式での講演60分·質疑応答30分の構

#### 6月4日(火) <新たな基軸を探す経営>

岩嵜 博論 (いわさき ひろのり) 株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局 部長

「未来生活者発想でサービスをデザインする」

#### 6月11日(火) <新たな基軸を探す経営>

**南 壮一郎** (みなみ そういちろう) 株式会社ビズリーチ 代表取締役社長

「日本の働き方と生産性について」

# 6月14日(金) <持続可能な社会を目指して>

白坂 成功 (しらさか せいこう) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

「超小型衛星でかわる宇宙ビジネスの潮流」

# 6月27日(木) <日本と世界の論点>

デービッド・アトキンソン (David Atkinson) 小西美術工藝社 代表取締役社長

「日本の魅力~その活かし方と伝え方~」

# 7月2日(火) <新たな基軸を探す経営>

田村 次朗 (たむら じろう)

慶應義塾大学法学部教授、 ハーバード大学国際交渉学プログラム・インターナショナル・アカデミック・アドバイザー

「対話型リーダーシップのすすめ~リーダーシッ プ基礎教育への挑戦〜」

# 7月9日(火) <持続可能な社会を目指して>

村上 絢 (むらかみ あや)

-般財団法人 村上財団 代表理事

# 「資金循環で社会の問題を解決する」

# 7月17日(水) <この人に聞く>

安部 龍太郎 (あべ りゅうたろう)

「信長はなぜ葬られたのか」

# 7月31日(水) <人間を考える>

吉田 裕 (よしだ ゆたか) -橋大学大学院社会学研究科 特任教授

保阪 正康 (ほさか まさやす)

# 「兵士達が見たアジア・太平洋戦争」

※本講演は吉田氏の講演60分·対談30分·質疑応答30分の構成です。

# ■お問合せ先

岡山商科大学社会総合研究所 〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1 TEL 086-256-6656(直通) FAX 086-252-0642(代表)

岡山商工会議所 夕学講座担当 〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15 TEL 086-232-2262

(社会総合研究所)